

平成26年(2014年) 7 ～ 9 月期平均の結果

< 1世帯当たりの1か月平均の消費支出 >

総世帯は,	241,556 円		
前年同期比	名目 1.5%の減少	実質 5.3%の減少	
二人以上の世帯は,	279,214 円		
前年同期比	名目 1.6%の減少	実質 5.4%の減少	
単身世帯は,	157,316 円		
前年同期比	名目 1.1%の増加	実質 2.8%の減少	

< 1世帯当たりの1か月平均の消費支出(除く住居等) >

総世帯は,	207,298 円		
前年同期比	名目 0.9%の減少	実質 4.7%の減少	
二人以上の世帯は,	242,246 円		
前年同期比	名目 1.4%の減少	実質 5.2%の減少	
単身世帯は,	129,120 円		
前年同期比	名目 3.6%の増加	実質 0.4%の減少	

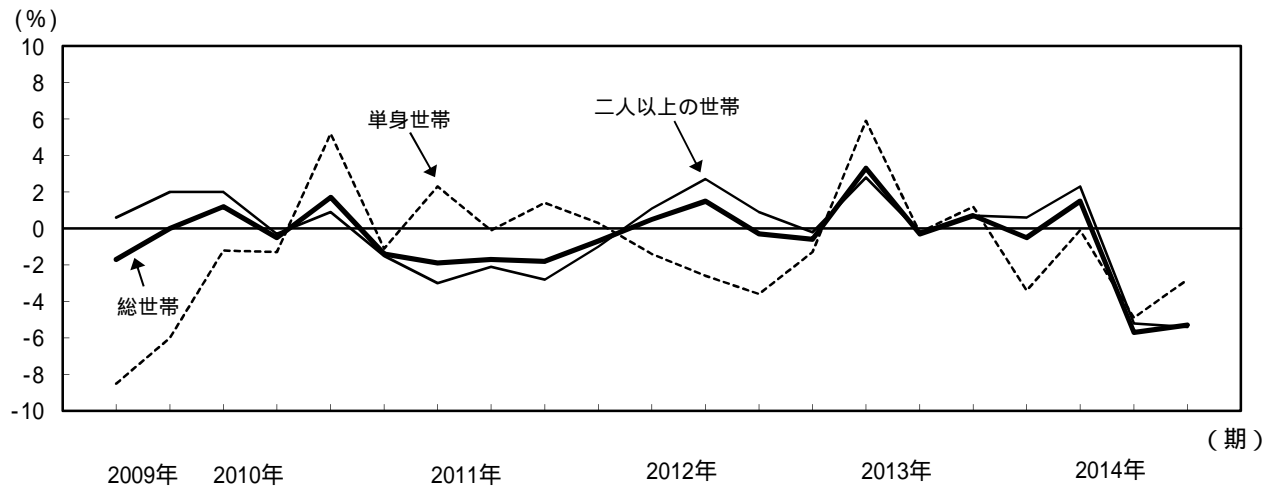
:「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。

< 勤労者世帯の1世帯当たりの1か月平均の実収入 >

総世帯は,	432,598 円		
前年同期比	名目 0.9%の減少	実質 4.7%の減少	
二人以上の世帯は,	480,298 円		
前年同期比	名目 2.1%の減少	実質 5.9%の減少	

消費支出の推移

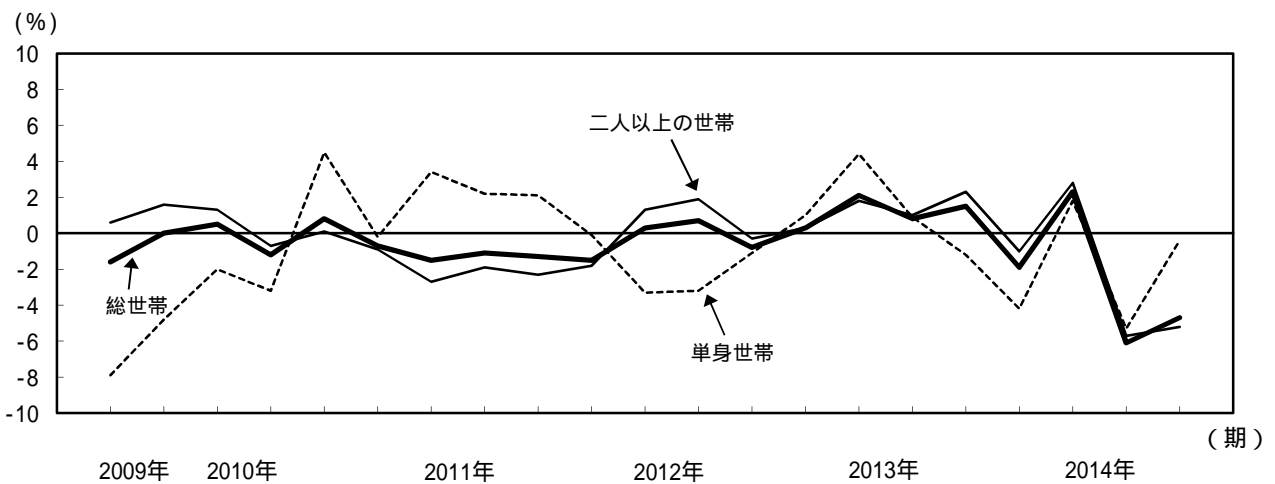
図1 消費支出の対前年同期実質増減率の推移



消費支出	2011年		2012年				2013年				2014年		
総世帯	-1.8	-0.7	0.5	1.5	-0.3	-0.6	3.3	-0.3	0.7	-0.5	1.5	-5.7	-5.3
二人以上の世帯	-2.8	-1.0	1.1	2.7	0.9	-0.2	2.8	-0.2	0.7	0.6	2.3	-5.2	-5.4
単身世帯	1.4	0.3	-1.4	-2.6	-3.6	-1.3	5.9	-0.2	1.2	-3.4	-0.1	-4.9	-2.8

注 は1～3月期， は4～6月期， は7～9月期， は10～12月期を表す。

図2 消費支出（除く住居等）の対前年同期実質増減率の推移

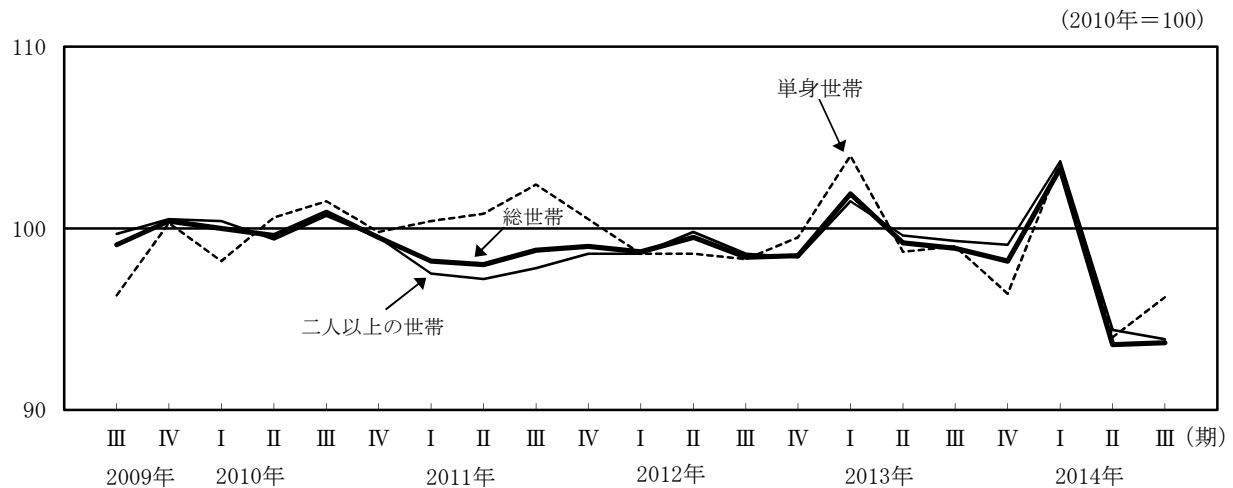


消費支出(除く住居等)	2011年		2012年				2013年				2014年		
総世帯	-1.3	-1.5	0.3	0.7	-0.8	0.3	2.1	0.8	1.5	-1.9	2.3	-6.1	-4.7
二人以上の世帯	-2.3	-1.8	1.3	1.9	-0.3	0.3	1.8	1.0	2.3	-1.0	2.8	-5.7	-5.2
単身世帯	2.1	-0.1	-3.3	-3.2	-1.1	1.0	4.4	0.9	-1.2	-4.2	1.8	-5.3	-0.4

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。

注 は1～3月期， は4～6月期， は7～9月期， は10～12月期を表す。

図3 消費支出（季節調整済実質指数）の推移



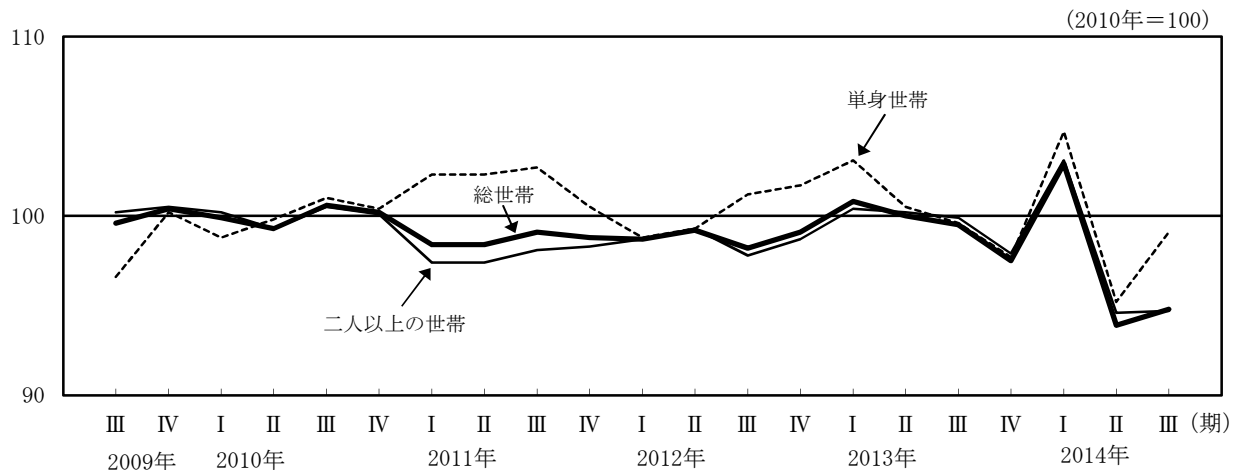
消費支出	2011年		2012年				2013年				2014年		
	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ
総世帯	98.8	99.0	98.7	99.5	98.4	98.5	101.9	99.2	98.9	98.2	103.3	93.6	93.7
対前期変化率(%)	0.8	0.2	-0.3	0.8	-1.1	0.1	3.5	-2.6	-0.3	-0.7	5.2	-9.4	0.1
二人以上の世帯	97.8	98.6	98.6	99.8	98.6	98.4	101.5	99.6	99.3	99.1	103.7	94.4	93.9
対前期変化率(%)	0.6	0.8	0.0	1.2	-1.2	-0.2	3.2	-1.9	-0.3	-0.2	4.6	-9.0	-0.5
単身世帯	102.4	100.5	98.6	98.6	98.3	99.5	104.0	98.7	99.0	96.4	103.6	94.0	96.2
対前期変化率(%)	1.6	-1.9	-1.9	0.0	-0.3	1.2	4.5	-5.1	0.3	-2.6	7.5	-9.3	2.3

注1 Ⅰは1～3月期、Ⅱは4～6月期、Ⅲは7～9月期、Ⅳは10～12月期を表す。

2 季節調整の方法は、センサス局法(X-12-ARIMAのX-11デフォルト)を用いた。

3 季節調整値は、1～3月期結果公表時に、過去に遡って改定している。

図4 消費支出（除く住居等※）（季節調整済実質指数）の推移



消費支出(除く住居等※)	2011年		2012年				2013年				2014年		
	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ
総世帯	99.1	98.8	98.7	99.2	98.2	99.1	100.8	100.0	99.5	97.5	102.9	93.9	94.8
対前期変化率(%)	0.7	-0.3	-0.1	0.5	-1.0	0.9	1.7	-0.8	-0.5	-2.0	5.5	-8.7	1.0
二人以上の世帯	98.1	98.3	98.7	99.3	97.8	98.7	100.4	100.2	99.9	97.9	103.1	94.6	94.7
対前期変化率(%)	0.7	0.2	0.4	0.6	-1.5	0.9	1.7	-0.2	-0.3	-2.0	5.3	-8.2	0.1
単身世帯	102.7	100.5	98.8	99.3	101.2	101.7	103.1	100.5	99.6	97.7	104.7	95.2	99.1
対前期変化率(%)	0.4	-2.1	-1.7	0.5	1.9	0.5	1.4	-2.5	-0.9	-1.9	7.2	-9.1	4.1

※：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。

注1 Ⅰは1～3月期、Ⅱは4～6月期、Ⅲは7～9月期、Ⅳは10～12月期を表す。

2 季節調整の方法は、センサス局法(X-12-ARIMAのX-11デフォルト)を用いた。

3 季節調整値は、1～3月期結果公表時に、過去に遡って改定している。

総世帯（「二人以上の世帯」と「単身世帯」を合わせた世帯）

1 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳（2014年7～9月期 - 総世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減率への寄与度(%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	241,556	-1.5	-5.3	-		2期連続の実質減少
食 料	59,905	1.2	-3.5	-0.85	<減 少> 外食, 魚介類など	2期連続の実質減少
住 居	16,761	-9.5	-10.6	-0.80	<減 少> 設備修繕・維持, 家賃地代	2期連続の実質減少
光 熱 ・ 水 道	16,693	-2.0	-7.8	-0.54	<減 少> 電気代, 上下水道料など	4期連続の実質減少
家具・家事用品	8,870	-7.3	-11.2	-0.44	<減 少> 家庭用耐久財, 家事雑貨など	2期連続の実質減少
被 服 及 び 履 物	8,657	1.9	-0.7	-0.02	<減 少> シャツ・セーター類, 下着類など	2期連続の実質減少
保 健 医 療	10,338	-3.0	-4.4	-0.19	<減 少> 保健医療サービス, 医薬品	2期連続の実質減少
交 通 ・ 通 信	35,691	0.9	-2.0	-0.30	<減 少> 交通, 通信	2期連続の実質減少
教 育	6,369	-15.5	-17.4	-0.53		
教 養 娛 楽	25,928	0.7	-3.8	-0.40	<減 少> 教養娯楽サービス, 教養娯楽用耐久財など	2期連続の実質減少
その他の消費支出	52,344	-1.3	(-5.1)	(-1.10)	<減 少> 交際費, こづかいなど	5期連続の実質減少
消 費 支 出 (除 く 住 居 等)	207,298	-0.9	-4.7	-		2期連続の実質減少

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。

2 「教育」については、詳細な収支項目別の集計を行っていない。

3 「その他の消費支出」の（ ）内は、消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いて実質化した。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中 分 類

品 目

< 減少項目 >

実質寄与度

交際費	[-0.68]	贈与金, つきあい費
設備修繕・維持	[-0.67]	外壁・塀等工事費, 設備器具
電気代	[-0.33]		
家庭用耐久財	[-0.33]	エアコンディショナ
教養娯楽サービス	[-0.27]	国内パック旅行費, 外国パック旅行費
外食	[-0.23]	すし(外食), 飲酒代
交通	[-0.23]	鉄道運賃, 有料道路料

< 増加項目 >

自動車等関係費	[0.04]	自動車購入, 自動車等関連用品
---------	--------	-------	-----------------

注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

2 勤労者世帯の収支

表2 収支の内訳（2014年7～9月期 - 総世帯のうち勤労者世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減 率への寄与 度(%)	備 考
		名 目	実 質		
実 収 入	432,598	-0.9	-4.7	-	5期連続の実質減少
世 帯 主 収 入	365,750	-0.3	-4.1	-3.51	6期連続の実質減少
定 期 収 入	323,704	-0.3	-4.1	-3.06	6期連続の実質減少
臨 時 収 入・賞 与	42,046	-0.8	-4.6	-0.45	3期連続の実質減少
配 偶 者 の 収 入	40,445	-4.6	-8.3	-0.81	5期連続の実質減少
他 の 世 帯 員 収 入	5,691	-17.6	-20.8	-0.33	4期連続の実質減少
非 消 費 支 出	79,584	-3.5	-	-	13期ぶりの減少
可 処 分 所 得	353,014	-0.3	-4.1	-	6期連続の実質減少
消 費 支 出	271,320	-0.9	-4.7	-	2期連続の実質減少
平均消費性向(%)	76.9	(前年同期) 77.3	(ポイント差) -0.4		

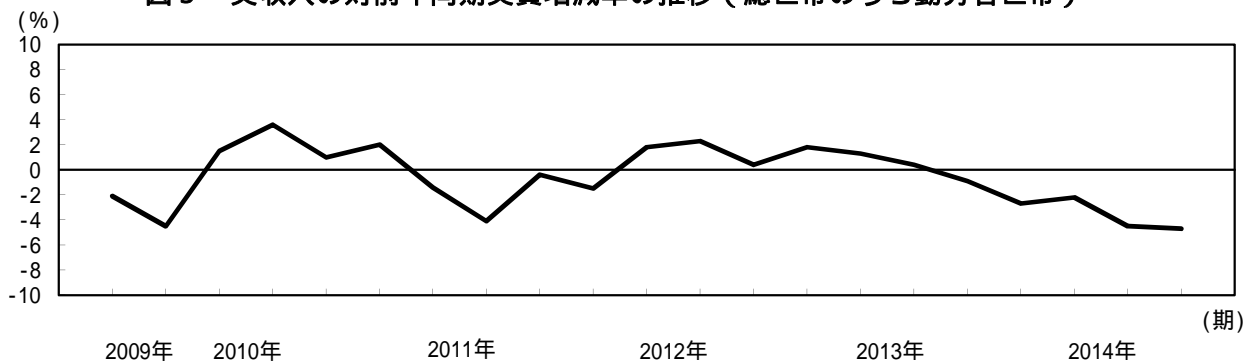
注1 「非消費支出」とは、税金や社会保険料など、世帯の自由にならない支出である。

「可処分所得」とは、実収入から非消費支出を差し引いた額で、いわゆる手取り収入のことである。

「平均消費性向」とは、可処分所得に対する消費支出の割合である。

2 実収入には、勤め先収入(世帯主収入、配偶者の収入及び他の世帯員収入)のほか、事業・内職収入や社会保障給付などが含まれる。

図5 実収入の対前年同期実質増減率の推移（総世帯のうち勤労者世帯）



	2011年		2012年				2013年				2014年		
実 収 入	-0.4	-1.5	1.8	2.3	0.4	1.8	1.3	0.4	-0.9	-2.7	-2.2	-4.5	-4.7

注 は1～3月期， は4～6月期， は7～9月期， は10～12月期を表す。

． 二人以上の世帯

1 消費支出とその内訳

表3 消費支出の内訳（2014年7～9月期 - 二人以上の世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減 率 へ の 寄 与 度 (%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	279,214	-1.6	-5.4	-		2期連続の実質減少
食 料	69,686	1.6	-3.1	-0.75	<減 少> 外食, 魚介類など	2期連続の実質減少
住 居	16,406	-10.4	-11.5	-0.74	<減 少> 設備修繕・維持	2期連続の実質減少
光 熱 ・ 水 道	19,862	-1.6	-7.4	-0.53	<減 少> 電気代, 上下水道料など	4期連続の実質減少
家具・家事用品	10,456	-8.0	-11.9	-0.48	<減 少> 家庭用耐久財, 家事雑貨など	2期連続の実質減少
被服及び履物	9,916	-0.5	-3.0	-0.10	<減 少> 洋服, シャツ・セーター類など	2期連続の実質減少
保健医療	12,148	-3.5	-4.9	-0.22	<減 少> 医薬品, 保健医療サービスなど	2期連続の実質減少
交通・通信	41,875	2.3	-0.7	-0.10	<減 少> 交通, 通信	2期連続の実質減少
教 育	9,217	-14.5	-16.4	-0.63	<減 少> 授業料等, 補習教育	4期連続の実質減少
教養娯楽	28,647	-2.2	-6.6	-0.68	<減 少> 教養娯楽サービス, 教養娯楽用品など	2期連続の実質減少
その他の消費支出	61,002	-1.3	(-5.1)	(-1.11)	<減 少> 交際費, こづかいなど	5期連続の実質減少
消 費 支 出 (除 く 住 居 等)	242,246	-1.4	-5.2	-		2期連続の実質減少

： 「住居」のほか，「自動車等購入」，「贈与金」，「仕送り金」を除いている。また，実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

注1 「摘要」欄は，消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。

2 「その他の消費支出」の（ ）内は，消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いて実質化した。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中 分 類

品 目

< 減少項目 >

実質寄与度

設備修繕・維持	[-0.77]	外壁・塀等工事費，設備器具
交際費	[-0.65]	贈与金，つきあい費
授業料等	[-0.62]	私立大学，国公立高校
教養娯楽サービス	[-0.42]	国内パック旅行費，宿泊料
家庭用耐久財	[-0.34]	エアコンディショナ
電気代	[-0.32]		
諸雑費	[-0.26]	装身具，たばこ
交通	[-0.23]	有料道路料，鉄道通勤定期代
外食	[-0.18]	飲酒代，すし(外食)

< 増加項目 >

自動車等関係費	[0.20]	自動車購入，自動車等関連用品
---------	--------	-------	----------------

注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

2 勤労者世帯の収支

表4 収支の内訳（2014年7～9月期 - 二人以上の世帯のうち勤労者世帯）

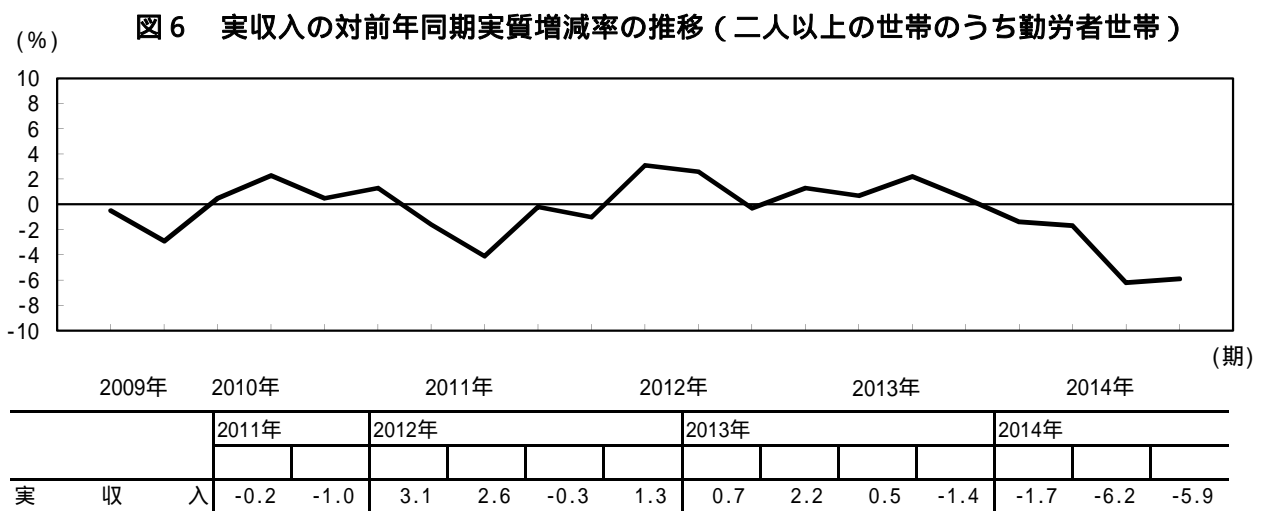
項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	備 考
		名 目	実 質		
実 収 入	480,298	-2.1	-5.9	-	4期連続の実質減少
世 帯 主 収 入	393,437	-1.6	-5.4	-4.38	3期連続の実質減少
定 期 収 入	345,505	-1.7	-5.5	-3.91	4期連続の実質減少
臨 時 収 入・賞 与	47,932	-1.0	-4.8	-0.47	3期連続の実質減少
配 偶 者 の 収 入	55,331	-5.7	-9.3	-1.11	5期連続の実質減少
他 の 世 帯 員 収 入	7,785	-18.6	-21.7	-0.42	4期連続の実質減少
非 消 費 支 出	89,106	-4.4	-	-	3期連続の減少
可 処 分 所 得	391,192	-1.6	-5.4	-	5期連続の実質減少
消 費 支 出	307,048	-1.8	-5.6	-	2期連続の実質減少
平 均 消 費 性 向(%)	78.5	(前年同期) 78.7	(ポイント差) -0.2		

注1 「非消費支出」とは、税金や社会保険料など、世帯の自由にならない支出である。

「可処分所得」とは、実収入から非消費支出を差し引いた額で、いわゆる手取り収入のことである。

「平均消費性向」とは、可処分所得に対する消費支出の割合である。

2 実収入には、勤め先収入(世帯主収入、配偶者の収入及び他の世帯員収入)のほか、事業・内職収入や社会保障給付などが含まれる。



． 単身世帯

消費支出とその内訳

表5 消費支出の内訳（2014年7～9月期 - 単身世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	157,316	1.1	-2.8	-		4期連続の実質減少
食 料	38,028	1.4	-3.3	-0.80	<減 少> 外食,飲料など	5期連続の実質減少
住 居	17,552	-7.8	-8.9	-1.08	<減 少> 家賃地代,設備修繕・維持	4期連続の実質減少
光 熱 ・ 水 道	9,604	-1.3	-7.1	-0.45	<減 少> 電気代,ガス代など	2期連続の実質減少
家具・家事用品	5,322	-1.4	-5.6	-0.19	<減 少> 家庭用耐久財,室内装備・装飾品など	2期連続の実質減少
被服及び履物	5,842	14.8	11.9	0.39	<増 加> 洋服,和服など	2期ぶりの実質増加
保 健 医 療	6,292	1.9	0.4	0.02	<増 加> 保健医療用品・器具	5期ぶりの実質増加
交 通 ・ 通 信	21,862	-2.8	-5.6	-0.82	<減 少> 自動車等関係費,交通など	2期ぶりの実質減少
教 育	0	-	-	-		
教 養 娛 楽	19,844	13.4	8.3	0.93	<増 加> 教養娯楽用品,教養娯楽サービス	2期ぶりの実質増加
その他の消費支出	32,972	0.9	(-3.0)	(-0.64)	<減 少> 仕送り金,交際費	2期連続の実質減少
消 費 支 出 (除く住居等)	129,120	3.6	-0.4	-		2期連続の実質減少

：「住居」のほか，「自動車等購入」，「贈与金」，「仕送り金」を除いている。また，実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

注1 「摘要」欄は，消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。

2 「教育」については，詳細な収支項目別の集計を行っていない。また，消費支出全体に占める割合が小さいことから，増減率については掲載していない。

3 「その他の消費支出」の（ ）内は，消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いて実質化した。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中 分 類

品 目

< 減少項目 >

実質寄与度

家賃地代	[-0.79]	民営家賃，公営家賃
交際費	[-0.76]	つきあい費，贈与金
自動車等関係費	[-0.45]	自動車以外の輸送機器購入，自動車保険料(任意)
外食	[-0.42]	和食，洋食
電気代	[-0.25]		
家庭用耐久財	[-0.25]	エアコンディショナ，電気冷蔵庫

< 増加項目 >

諸雑費	[1.00]	祭具・墓石，冠婚葬祭費
教養娯楽用品	[0.65]	他の運動用具*，スポーツ用品
教養娯楽サービス	[0.46]	ゴルフプレー料金，スポーツ月謝
洋服	[0.32]	婦人用上着，男子用上着

注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

* 「他の運動用具」とは，「ゴルフ用具」以外の運動用具類をいう。

< 参考 >

図7 消費支出の対前年同期実質増減率に対する費目別寄与度（2014年7～9月期 - 総世帯）

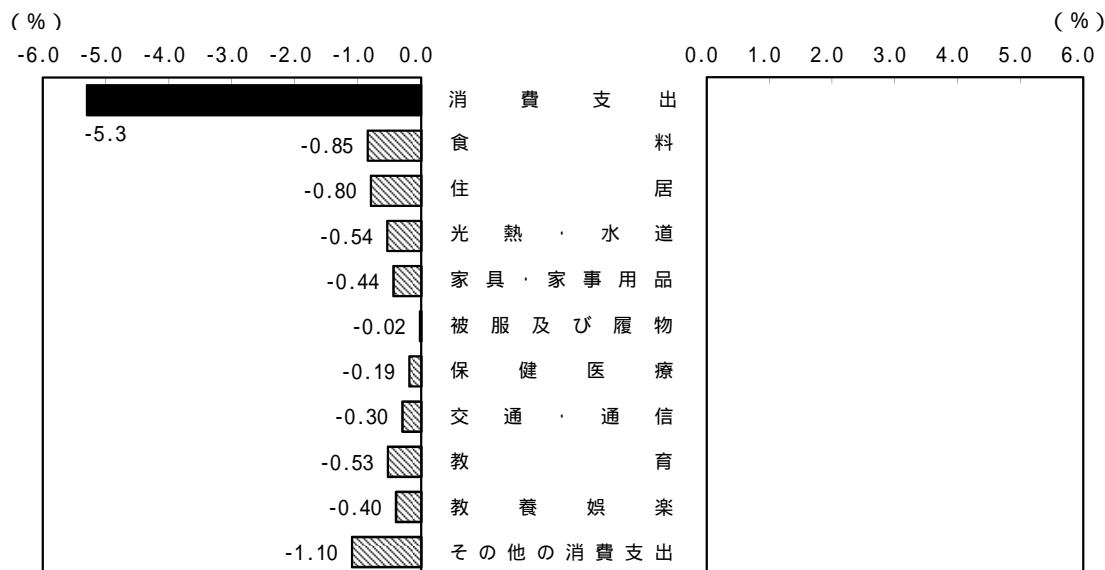


図8 消費支出の対前年同期実質増減率に対する費目別寄与度（2014年7～9月期 - 二人以上の世帯）

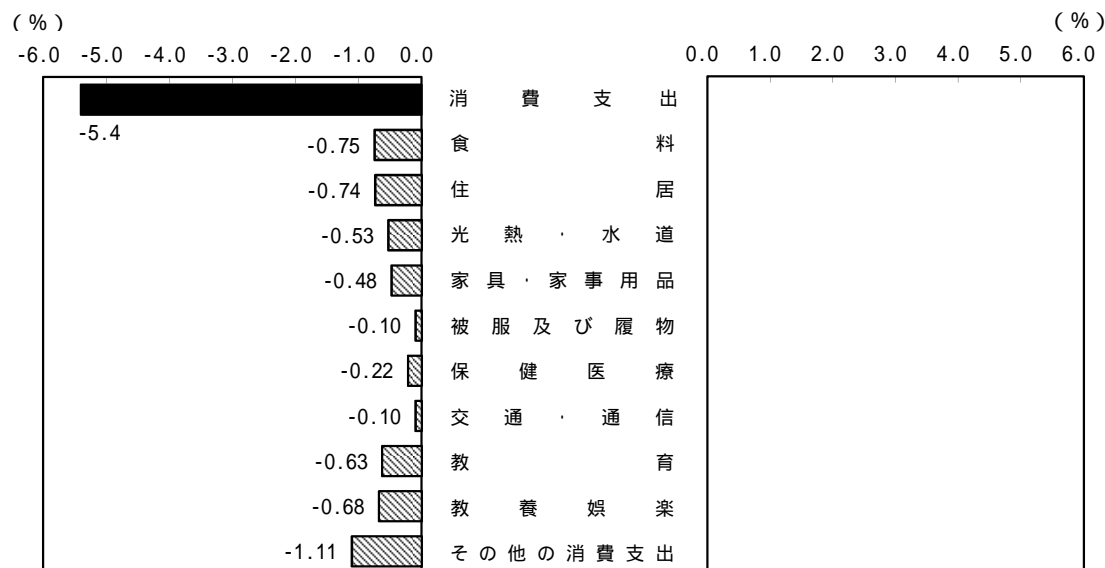
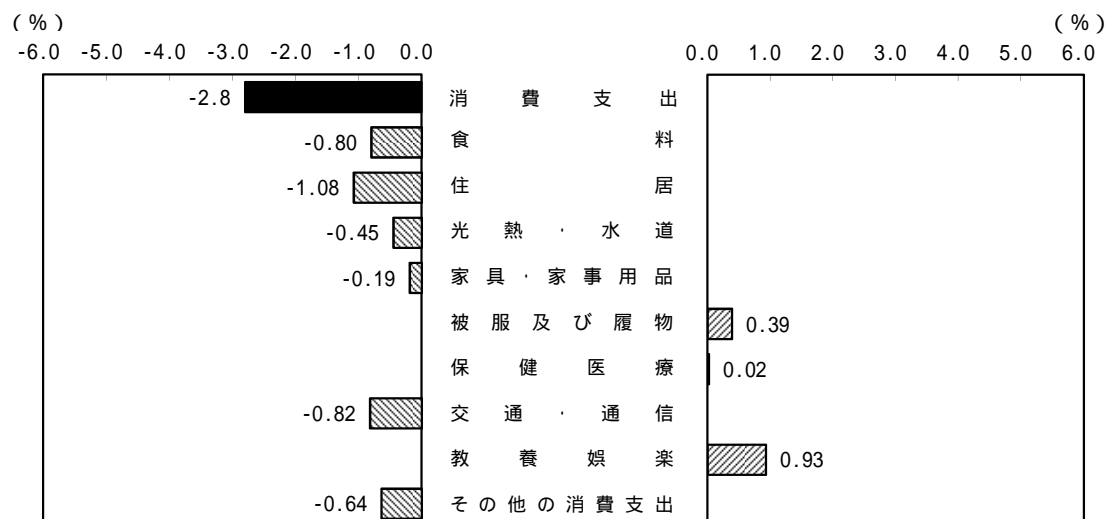


図9 消費支出の対前年同期実質増減率に対する費目別寄与度（2014年7～9月期 - 単身世帯）



注 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。